

5. 環境：地球環境の保護が、私たちの生活を支えていく

私たち 70 億人と次世代の人々の生活は、地球環境によって左右される。

今世紀最大の課題は、現在の 70 億人だけではなく、さらに次世代の数 10 億人のニーズを満たすとともに、地球上に生きる全ての命を維持することのできる複雑な自然のバランスを守ることである。

水、木、食糧そして化石燃料の需要は、人口の増加と共に増える一方である。人類の営みはこれまで、気候を含むあらゆる面で地球の状況を変化させてきた。清潔な水と耕地の不足が既に問題となっていると同時に、絶滅する生物種が絶えず、漁場から森林に及ぶ生態系の回復力も脅かされている。

貧困層の人々は、気候変動にはほとんど影響を与えないにも関わらず、干ばつ、洪水、熱波、竜巻、暴風雨、その他の自然災害の影響を最も受けやすい。そして被害を受けた人々の多くは、よりよい生活の場所を求めて移動せざるをえない。

一方、豊かな国は地球が全人類のためにはとても維持しきれないくらいの割合で資源を消費している。世界中のいたるところで資源消費の需要が高くなっているため、地球に対する負荷も増加している。全人類がこれから慎み深く生きてゆくためには、もっと効率のよい、「もっとグリーンな」生き方が求められている。

私たちの共同体としての未来のためには、過剰な消費を抑え、温室効果ガスの排出を早急に下げることが不可欠である。より公正な社会をめざし、人口増加を減速させることが、私たちができる協調的な解決策であろう。

—現状—

- 世界の総人口の 7%を占める最富裕層の 5 億人は、世界の二酸化炭素の半分を排出しており、気候変動の主要因となっている。世界人口の半分である貧困層が排出するのは、全体の 7%にすぎない。
- 今日アメリカで一人が排出する二酸化炭素量は、中国人 4 人分、インド人 20 人分、パキスタン人 30 人分、ナイジェリア 40 人分、エチオピア人なら 250 人分である。

- 総じて、アメリカ人は世界最大の消費者である。アメリカ人の平均的な生活を維持するのに、21 エーカー（9.5 ヘクタール）分の資源を使用する。ドイツ人ならば 10 エーカー（4.2 ヘクタール）、一方、インド人および、ほとんどのアフリカ人は 2.2 エーカー以下（1 ヘクタール）、世界の平均値は 4.8 エーカー（2.2 ヘクタール）である。
- 世界の 8 億 8,400 万人の人が安全な飲み水を手に入れる手段がなく、260 万人がトイレなどの基本的な公衆衛生のサービスを楽しむことができない。
- 紛争地域や自然災害から安全な場所に避難するため、もしくはきちんとした職を得るため、または単に良い生き方を求めて、2 億 1,400 万人もの人々が母国から離れて移住している。そのうち 49% が女性である。

—最近の傾向—

- 一人あたりの水の消費量は、世界人口の 2 倍の速さで増加している。これからの 20 年で、人々は今日よりも 40% 以上多くの新鮮な水を必要とすることになる。
- 1970 年から 2008 年にかけて、世界の修正純貯蓄額は半分以下に落ち込んだ（国民総所得収入は 19% から 7% に下がった）。その一方、二酸化炭素の総排出量（気候変動の原因となる温室効果ガスの主な成分）は、2 倍以上になった。
- 現在確認されている動植物のうち約 1 万 7,000 種は、生息地の消失、侵略性外来種、過度な消費、汚染、気候変動などに対し適切な対応がなされていないために、絶滅の危機に瀕している。
- 多様な生態系が喪失すると、人間の食糧安全保障が危うくなると同時に、現存する種が病気に感染したり自然災害によって絶滅する危険性が高まるため、新しい医療技術や科学技術の発展に役立つ資源を失うことになる。